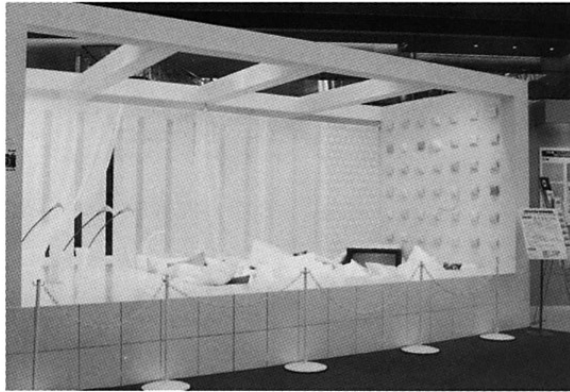


**JAPANTEX'99**  
**「インテリアトレンドNOW」展**  
**プロが主張する旬のインテリア「私のお薦め空間」**

TDAトレンド委員会の若手(?)委員7人によるJAPANTEX'99内での展示内容、及び  
 出展にまつわるエピソードなどをそれぞれのメンバーのコメントを交えながらレポート致します。

会場) 東京ビッグサイト 西展示ホール アトリウム  
 (日時) 平成11年2月3日(水)~6日(土)  
 (実行委員長) 小川 久  
 (アドバイザー) 桜井 照也

(実行委員) 江草 正博、真木 友子、都築 恵子、  
 佐藤 聖子(旧姓石井)、内田 滋、古関 崇尚、  
 中島 良弘(順不同)



〈コンセプト〉

政治不信、社会不安、経済不況、環境破壊…。  
 我々日本人は様々な問題を何一つ解決する事なく21世紀を迎えようとしている。

つまり、現代の日本社会とは言い換えれば、「ストレスという汚水に満たされたプール」と言っても決して過言ではない。  
 ストレスによる心身の痛手や疲れを癒し、落ち込んだ気分を少しでもくつろがせることの出来る空間づくり、それが今、インテリアの世界に求められている。

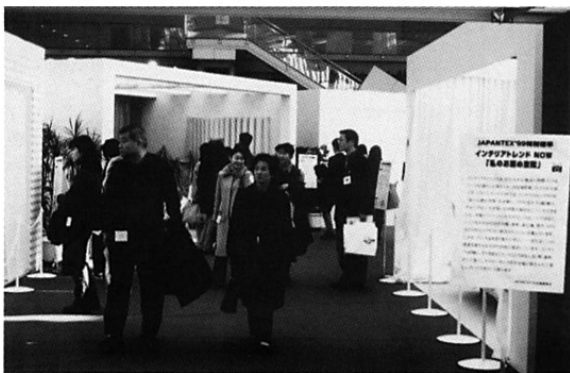
「そこに集うだけでやすらぎを感じることで出来る空間演出は？」  
 例えば、

「リラックスの一杯つまったモノ(何か?)で部屋を一杯にすることができたら」

そんなインテリアを創造すること、それがこれからのインテリアデザイナーに携わる我々の宿題であり、使命でもあるだろう。

〈テーマ〉

- ① 白い布、透明感のある布を生かして優しさ、やすらぎ、くつろぎを表現する。
- ② ファブリックスの持つ質感やさまざまな表情から生まれる可能性、効果というものをクッションという一つの単純な形に集約して表現することで、快適でやすらげる住空間を提案する。



布で間仕切る 布で包む 布で被う 布で隠す 布を重ねる  
 布に表情を加える 布に投影する 布に光と影を与える…

〈各実行委員会からのコメント〉

江草 正博  
 東京造形大学卒業  
 (株)ロームの企画開発部に現在ディレクターとして所属。



「白い布たちの空間」  
 イライラや疲れの毎日——。  
 実生活では狭い空間での暮らしぶり——。  
 時には1日、ゆったりとひろ〜いフワフワとした空間での〜んびりと手足をのぼして過ごしたいもんです。  
 それが明日への活力の源になるように——。  
 そんな願望がJAPANTEX' 99で形となりました。

佐藤聖子  
 武蔵野美術大学卒業  
 フリーのテキスタイルデザイナー。“アトリエジュス”代表。



今回のインテリアトレンドNOW「私のお薦め空間」は、インテリアファブリックスを楽しむ提案として、とても分かりやすく、新しいイメージ創造になったと思います。

人間関係が希薄になる中で、心のすき間を物で埋める空間。  
 他人とのつながりを確認する為の自己主張の空間。

これら現代社会生活の今の空間に、全て白い布、透明感のある布を使い、布で間仕切り、布で包み、そして重ねるなど布の持つ可能性を全面的に表現した住空間を提案したことは、見る人の想像力をかき立て、思考を活性化させることができたと思います。

今回だけではなくこれから先も「私のお薦め空間」を通じて、多くの方にインテリアファブリックスを楽しんでもらえる提案をしていければと思います。